

Teacher message. #1

最新装置を使った学修によって 医療現場を支える基礎力を築く

水田 正芳 教授
博士(保健学)

医学的な基礎をしっかりと学びながら、診療放射線に関する専門的な知識を身につけ、学内でしっかり実験を行ったうえで臨床実習に臨むというように、4年間を通じて段階的に学修するカリキュラムを組んでいるのが本学の長です。中でも特に学内での実験に力を入れており、病院で使用されている最新の装置を導入し、入職後スムーズに業務に取り組める実践力を育みます。

現場経験が豊富な教員が多く、教科書や資料だけでは伝えきれない、きめ細やかな指導を行っている点も大きな特色です。私自身の指導では、基礎の修得を重視。それは、土台がしっかりしていれば、どんなに装置や検査方法が進歩しても対応できるから。将来、安心・安全・適切な検査・治療を行い、医療現場を支える診療放射線技師になるために、本学で知識と技術を積み重ねてください。



Teacher message. #2

日本語で表現する学修を通じて 第一希望に就職する力を育む

青野 美幸 講師
博士(文学)

医療従事者として成長していく素地を育むために、本学では医学や理系はもちろんのこと、文系の科目にも重点を置いています。「入学前教育・初年次教育・リメディアル教育・キャリア教育」の4つを行う体制を整えており、なかでも4年を通じたキャリア教育に力を入れています。キャリア教育では、問題を正確に理解する「読解力」、思考し、知識と知識を結び付ける「構成力」、考えを効果的に表現する「表現力」をいかなる状況でも発揮できることを目標としています。

私が担当する科目では、「日本語で表現する」学修を軸とした講義によって、第一希望の内定を勝ち取る、書く力と話す力を身につけてもらいます。客観的な視点で自分の考えを整理し、発信する力や卓越した対話力を伸ばし、医療現場で求められる人材となる基盤を築きます。

本学は、教員と学生の距離が近く、ファミリー意識が強いのが強みです。これから本学で学ぶみなさんには、恵まれた環境を最大限に活用し、ブレ社会人としてさらに自分を磨いてほしいと思います。



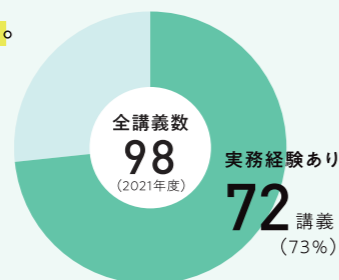
Shape 01 教育内容・実習について

放射線のプロによる学びと 実践の場が用意されている。

教育内容・実践講義についての理由はここにある!

実務経験のある教員による講義多数。
知識を深める学びと
実践的な教育を可能に。

臨床経験を積んだ教員によるきめ細かな少人数指導により、国家試験合格の学力はもとより医療現場に的確に対応する実践能力を培います。



関西屈指の高水準病院との連携が
充実の臨床実習を可能に

長きにわたる信頼による好環境のもと、講義で修得したものが実際に医療の現場でどのように行われているかを学び、実践すること、患者さんとのコミュニケーションの取り方、チーム医療のあり方を学ぶことで、現場力を磨きます。

